

令和7年度 予算特集



旭市の財政を分かりやすく解説します

令和7年度予算のくわしい内容は、市ホームページ (<https://www.city.asahi.lg.jp/soshiki/5/32631.html>) で確認してください。



問い合わせ先
財政課財政班 (☎62-5316)

令和7年度 旭市の予算 「みんなで創る未来 ず〜っと大好きなまち旭」を目指して

令和7年度の当初予算は「チーム旭でまちづくり」の推進と、新たにスタートした「第3期旭市総合戦略」に掲げた施策の実現に向け、子育て支援・医療・福祉・教育の充実、消防・防災力の強化などに対応した事業を盛り込んだ予算となっています。主な事業は6～8ページに掲載しています。

一般会計予算は 342億円

旭市の会計には、一般会計と4つの特別会計、3つの公営企業会計があり、それぞれの会計ごとに予算が組まれ運営されています。予算総額は567億3,531万1千円で、内訳は一般会計が342億円、特別会計は4会計を合わせて193億4,500万円、公営企業会計は3会計を合わせて31億9,031万1千円です。



一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類のお財布

一般会計	福祉や教育、道路整備など、市の基本的な事業を行うための会計	令和7年度予算	前年度予算
		342億円	324億8,000万円

特別会計	国民健康保険のように、保険料を徴収して特定の事業に充てている場合など、一般会計と区別する必要がある事業の会計		令和7年度予算	前年度予算	
			193億4,500万円	176億6,500万円	
	内訳	病院事業債管理	43億8,000万円	32億4,600万円	
		国民健康保険事業	事業勘定	80億1,200万円	79億7,900万円
			施設勘定	8,300万円	8,400万円
後期高齢者医療		8億8,300万円	8億6,200万円		
介護保険事業	59億8,700万円	54億9,400万円			

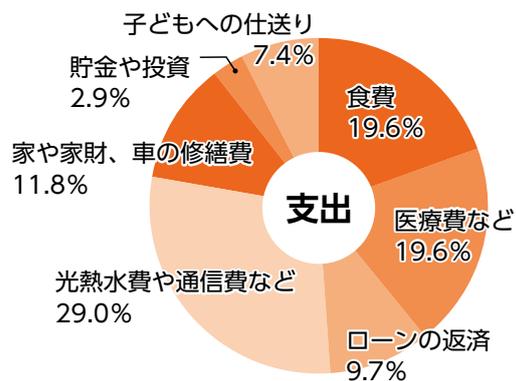
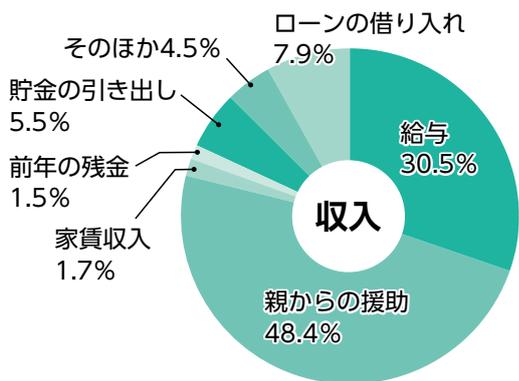
公営企業会計	民間企業のように、利用料金などの収益で運営している事業の会計		令和7年度予算	前年度予算
			31億9,031万1千円	32億9,218万3千円
	内訳	水道事業	21億6,165万5千円	21億8,134万円
		公共下水道事業	9億584万円	9億6,133万9千円
農業集落排水事業		1億2,281万6千円	1億4,950万4千円	

市の予算を家計に置き換えてみると

一般会計予算額を年収524万円*の家計に置き換えてみました。

※令和5年国民生活基礎調査の1世帯当たりの平均所得金額を参考に算出。

収入		支出	
給与 (市税、地方譲与税、交付金)	(前年度比) 160万円(同額)	食費 (人件費)※1	(前年度比) 103万円(1万円)
親からの援助 (地方交付税、国庫・県支出金)	253万円(16万円)	医療費など (扶助費)※2	103万円(5万円)
家賃収入 (分担金、負担金、使用料、手数料、財産収入など)	9万円(▲3万円)	ローンの返済 (公債費)※3	51万円(▲3万円)
前年の残金 (繰越金)	8万円(▲1万円)	光熱水費や通信費など (物件費、補助費等)※4、※5	152万円(13万円)
貯金の引き出し (繰入金)	29万円(8万円)	家や家財、車の修繕費 (維持補修費、普通建設事業費)※6	62万円(▲19万円)
そのほか (寄附金、諸収入)	23万円(4万円)	貯金や投資 (積立金、投資及び出資金など)※7	15万円(4万円)
ローンの借入れ (市債)	42万円(▲24万円)	子どもへの仕送り (繰出金)※8	38万円(▲1万円)
合計	524万円	合計	524万円

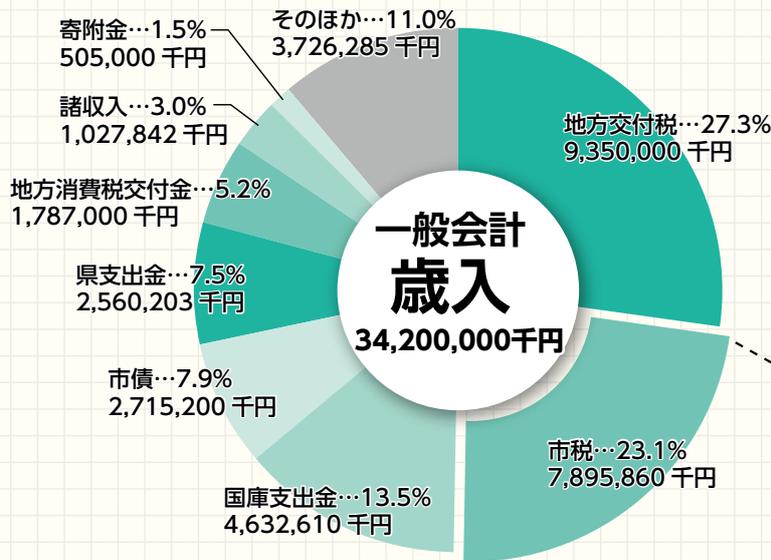


- ※1 人件費…職員の給与や議員報酬など
- ※2 扶助費…生活保護、障がい者支援、医療費助成、児童手当の給付などに使うお金
- ※3 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済に使うお金
- ※4 物件費…光熱水費、消耗品費、業務委託料など
- ※5 補助費等…各種団体への補助金や負担金など
- ※6 維持補修費、普通建設事業費…道路や公園、学校など公共施設の建設や改修などに使うお金
- ※7 積立金…市の貯金(基金)に積み立てるお金
- ※8 繰出金…特別会計の歳入を補うために使うお金

歳入の内訳

一般会計の歳入の内訳を見てみましょう

市税は78億9,586万円で、定額減税の終了などにより、前年度と比べ4億4,769万6千円(6.0%)の増額となりました。地方交付税は93億5,000万円。そのうち普通交付税は82億7,000万円で、国の地方財政計画に基づき前年度と比べ1億2,000万円(1.5%)の増額、特別交付税は10億8,000万円で、地方バス路線運行などに係る市の財政負担の増加が見込まれることから、前年度と比べ3,000万円(2.9%)の増額となりました。国庫支出金は46億3,261万円で、前年度と比べ11億5,090万1千円(33.1%)の増額、県支出金は25億6,020万3千円で、前年度と比べ5億6,055万9千円(28.0%)の増額となりました。



使い道が決まっている市税とは？

旭市には、固定資産税をはじめ7種類の市税があります。そのうち都市計画税と入湯税は、使い道が決められている目的税です。都市計画税は都市計画事業に、入湯税は消防施設や観光施設の整備、観光の振興などに要する経費に活用します。



市民1人当たりが
納める市税
128,000円

※千円未満は四捨五入。

市税予算額78億9,586万円÷人口
61,785人(令和7年3月1日現在)

市税の内訳



個人市民税
3,228,009千円



固定資産税
3,223,896千円

市たばこ税	550,420千円	軽自動車税	263,989千円
法人市民税	356,499千円	入湯税	9,239千円
都市計画税	263,808千円		

※都市計画税は、都市計画区域内(旭地域)の土地や建物に課税されています。

森林環境譲与税は、森林整備や木材の利用促進などの経費に活用

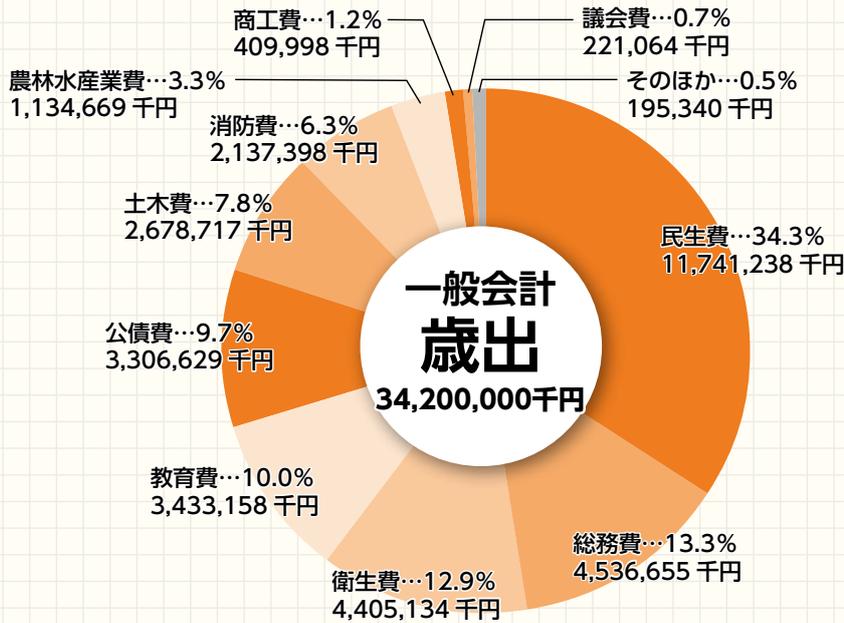
森林環境譲与税は、森林の整備や担い手の確保、木材の利用促進や普及啓発などに充てることを目的として、国から譲与されています。

- 森林環境譲与税収入：1,000万円 [森林環境整備基金に積み立て]
- 森林整備や木材の利用促進などに要する経費：1,065万7千円 [森林環境整備基金繰入金による]
(保安林への苗木の植栽、海岸減災林の整備など)

歳出の内訳

一般会計の歳出の内訳を見てみましょう

目的別では、民生費が最も多く全体の34.3%を占め、子育て支援や福祉サービスなどに活用されます。続く総務費は13.3%で、庁舎管理やコミュニティバスの運行などに活用されます。衛生費は12.9%で、市民の健康づくりやごみ処理などに活用されます。教育費は10.0%で小・中学校や文化・スポーツの振興などに活用されます。公債費は9.7%で、市が借り入れたお金の返済に充てられます。土木費は7.8%で、道路や排水路の整備などに活用されます。



市民1人当たり
に使われるお金
554,000円

※千円未満は四捨五入。

一般会計予算額342億円÷人口
61,785人(令和7年3月1日現在)

市民1人当たりに使われるお金の内訳

		
民生費 190,000円	総務費 73,400円	衛生費 71,300円
教育費 55,600円	農林水産業費 18,400円	商工費 6,600円
公債費 53,500円	議会議費 3,600円	そのほか 3,200円
土木費 43,400円		
消防費 34,600円		

地方消費税率の引き上げ分は、社会保障関係の経費に活用

消費税率(国・地方)は、平成26年に8%、令和元年に10%へと引き上げられました。引き上げに伴う地方消費税交付金の増収分は、高齢者・障がい者・児童の福祉などの社会保障施策の経費に充てるとされています。

●引き上げ分の地方消費税収入(地方消費税交付金)：9億4,600万円

●社会保障4経費、そのほか社会保障施策に要する経費：132億3,800万9千円

※社会保障4経費とは、年金・医療・介護の社会保障給付や少子化に対処するための施策に要する経費です。

令和7年度の主な事業

「旭市総合戦略」4つの基本目標に基づく事業

「チーム旭でまちづくり」の推進に向けた、令和7年度当初予算の
主な事業を4つの基本目標ごとに紹介します。

新…新規事業

拡…拡充事業

① 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり

農水産業の振興、商工業の振興、観光振興のための事業など

新 地域女性デジタル人材育成推進事業……………3,633千円

在宅での就業を希望する女性を対象に、デジタル技術を習得するためのセミナーを開催するほか、自営型テレワーカーの育成や就業機会の提供・紹介などの支援を行います。

拡 農業振興事務費……………21,455千円

農業のさらなる振興のため、生産振興事業への補助や農業関係の協議会などへの支援を行います。本年度は、地域おこし協力隊を新たに委嘱し、就農希望者の増加や農業・漁業後継者の育成に取り組めます。

新 海業推進事業……………4,959千円

漁港周辺のにぎわいの創出と漁業振興のため、漁港を中心とした各産業の連携により、未活用の地域資源を有効活用した事業を進めます。本年度は、海業を推進するための事業計画を策定します。

新 事業者デジタル化支援事業……………6,103千円

市内の民間事業者を対象に、デジタル化への関心を高めるための啓発セミナーの開催や専門家による伴走支援を行い、デジタル技術の導入を支援します。



拡 観光イベント事業……………29,584千円

観光産業の振興と地域活性化のため、観光イベントへの支援を行います。本年度は、旭市20周年を記念したイベントへの補助を拡大します。

② 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

子育て支援の充実、地域福祉の充実、学校教育や生涯学習充実のための事業など

ファミリー・サポート・センター事業……………6,090千円

仕事と子育てを両立し、安心して子育てができるよう、地域の子育て力を高めるため、子育ての手伝いをしてほしい人と子育てを手伝いたい人を結び付ける組織を運営し、相互援助活動を推進します。

拡 児童手当給付事業……………1,297,599千円

次代を担う全ての子どもの成長と発達の助けとなるよう、子育て世帯への経済的支援として児童手当を支給します。所得制限を撤廃し、支給期間を高校生年代(18歳を迎える年度の末日)までとします。

拡 保育所統合整備事業……………200,779千円

施設の老朽化や少子化などに対応するため、旭市立保育所再編計画に基づき保育所の再編を進めます。本年度は、日の出・とみうら保育所の統合に向け、日の出保育所の改修工事に着手します。

拡 育児支援事業……………8,410千円

妊娠・出産から育児までの支援を行うことで、育児などへの不安軽減や知識の普及を図ります。本年度から、小児科医などから診療の必要性や育児の助言を受けられるオンライン医療相談を導入します。



統合校として改修される古城小

拡 特定不妊治療費助成事業…………… 300千円

少子化対策の一つとして、不妊治療に伴う経済的負担を軽減します。本年度から、医療保険の対象とならない特定不妊治療(先進医療)を受けた夫婦に対して、治療費の一部を助成します。

学校再編推進事業…………… 10,362千円

将来を担う子どもたちに、公平で充実した、より良い教育環境を確保するため、適正規模・適正配置による学校施設の再編を進めます。

教育の情報化推進事業…………… 421,420千円

タブレットなどのICT(情報通信技術)を活用して、児童・生徒の学力向上を図ります。本年度は、児童・生徒が使用する学習用タブレットの一斉更新などにより、小・中学校のデジタル環境を整備します。

新 小学校統合整備事業…………… 364,058千円

令和9年4月の「ひかた椿小学校」開校に向けて、統合校として活用する古城小の校舎や体育館などの改修工事を進めます。

新 部活動地域クラブ運営事業…………… 5,367千円

令和8年度の休日部活動の完全地域移行を目指して、地域での受け入れ態勢を整えます。本年度は、地域クラブ運営事務局を新たに設置し、地域移行に向けた計画の策定を進めます。

文化振興事業…………… 13,468千円

市民の文化意識の高揚を図るため、優れた文化芸術に触れる場の提供や、市民の主体的な文化活動を支援します。本年度は、沖縄県中城村との交流イベントなどの旭市20周年記念事業を開催します。

大原幽学遺跡史跡公園整備事業…………… 54,389千円

大原幽学遺跡整備基本計画に基づき、斜面保護や園路などを整備し、遺跡の保存と活用を図ります。また、大型車両が利用できる駐車場や障がい者が利用しやすい専用駐車区画などを整備します。

拡 スポーツ振興事業…………… 23,724千円

イベントの開催や各種団体への支援により、スポーツ振興を図ります。また、障がいのある人も気軽にスポーツに触れ、楽しさを実感できるよう、パラ卓球拠点活動を通じてパラスポーツの普及を図ります。

学校給食費負担軽減額

拡 学校給食費の完全無償化…………… △235,087千円

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、本年度から、市内の小・中学校に通う全ての児童・生徒の学校給食費を無償にします。

ひとの定着・還流・移住
③の流れをつくり、人々が
集いつながるまちづくり

定住交流の促進、安全で快適な道路の整備、良好な生活環境形成のための事業など

拡 自治体DX推進事業…………… 10,830千円

民間企業のデジタル専門人材を活用して、自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するための計画策定や人材育成に取り組みます。また、電子申請システムを導入し、自治体DXを効率的・効果的に進めます。

拡 ふるさと応援寄附推進事業…………… 276,265千円

市への寄付者に特産品や体験型の返礼品を提供することで、市の魅力を全国に発信し、知名度の向上や産業の活性化、関係人口の増加とともに財源の確保に努めます。

コミュニティバス等運行事業…………… 83,924千円

高齢者などの移動手段を確保し、市民の積極的な社会参加と公共交通の充実を図ります。本年度は、旭市20周年記念運行として、8月を無料でコミュニティバスに乗車できる期間とします。

拡 デマンド交通運行事業…………… 27,481千円

市内に点在する交通空白地域を解消し、バス停までの移動が困難な人などの外出を支援するため、乗り合い型のタクシーを運行します。本年度からコールセンターを充実させ、利便性の向上を図ります。



子どもたちの元気の源となる学校給食



20周年を記念して大相撲旭場所を開催

新 旭市20周年記念事業 …………… 19,614千円

新市誕生から20周年を記念した式典や、大相撲旭場所などの事業を開催します。

冠水対策排水整備事業 …………… 380,120千円

道路冠水が多発する地域において、効果的な排水ができるよう整備工事を実施し、集中豪雨や台風などによる浸水の解消・緩和を図ります。

新 大間線道路改良事業 …………… 149,600千円

防災機能の確保やアクセス向上のため、主要地方道銚子旭線と東総広域農道を結ぶ道路の改良工事に着手します。

新 谷丁場遊正線整備事業 …………… 33,000千円

地域産業の活性化や防災機能確保のため、都市計画道路谷丁場遊正線を銚子連絡道路インターチェンジまで延伸する事業に着手します。

都市計画総務事務費 …………… 109,681千円

計画的な土地利用と秩序ある良好な住環境の形成を実現するため、市全域を視野に入れた都市計画の見直しを行います。

空き家等対策推進事業 …………… 6,502千円

地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている、空き家などの発生抑制・解消・活用につなげるため、補助金の交付や空家・空地バンクの運用などを実施します。

新 地域密着型サービス拠点等整備事業 …… 221,689千円

住み慣れた地域での生活を支える介護サービスを提供する事業者に対して、地域密着型サービス事業所を整備する費用を補助します。

新 地域医療体制整備事業 …………… 25,351千円

市民が安心して子どもを育てられる環境づくりを推進するため、市内に小児科を新たに開設する医療機関に対して、開設に要する費用を補助します。

拡 がん検診事業 …………… 106,095千円

健康増進法に基づき、各種がん検診を実施します。本年度は、胃がん検診の40歳新規受診を無料とすることで、対象者への受診をより一層促し、早期発見・治療につなげ、がんによる死亡率の減少を図ります。

新 海岸減災林整備事業 …………… 4,510千円

旭市復興計画に基づき、津波に対する減災効果を高めるため、本年度から5年をかけて、飯岡地域の下永井海岸に延長約750mの海岸減災林を整備します。

消防車両整備事業 …………… 196,124千円

災害から市民の生命や財産を守るため、消防署に配備している救助工作車を更新し、消防力の強化を図ります。

拡 消防広域化・共同化基盤整備事業 …… 229,096千円

複雑・多様化する災害に対応できる消防体制を整えるため、本年度から、広域で運用している消防救急無線に係る機器と設備の更新を進めます。

拡 防災対策整備事業 …………… 19,392千円

防災施設・資機材の整備や維持管理、防災備蓄品の充実を図り、災害に備えた体制づくりを進めます。本年度は、停電時でも稼働できる冷風機や移動式エアコンを配備して、避難所の環境改善に取り組みます。

防災行政無線等整備事業 …………… 540,296千円

災害時などの重要な情報伝達手段である、防災行政無線の日常的な管理を行います。新たな電波方式を用いた設備の整備と戸別受信機の配布を完了させ、伝達機能の向上と防災機能の充実を図ります。



更新する消防署の救助工作車

このページを抜き取って利用してください。

将来にわたって元気な地域
④をつくり、安全・安心で暮
らしやすいまちづくり

保健・医療の充実、震災からの復興、防災力の強化、行政経営推進のための事業など

拡 公用車管理費 …………… 14,184千円

公用車管理適正化計画に基づき、車両の管理や効率的な運用を行います。本年度は、車両の更新に当たり電気自動車を導入し、二酸化炭素などの排出抑制に取り組めます。